

# 清流をまもる 未来をまもる

～石木ダム 本当に必要ですか～



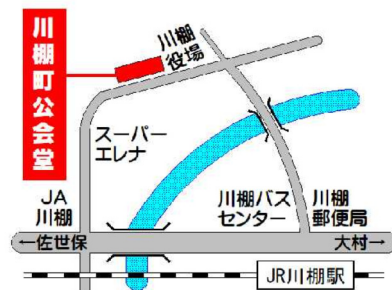
## 第1部 講演

- 今本博健（京大名誉教授）「水位計算による川棚川治水への石木ダムの効果についての検討」
- 宮本博司（元国土交通省職員）「ダムで命と清流は守れるのか？」
- 細谷和海（近畿大学名誉教授）「シーボルトが見た日本の水辺と石木川の魚類生態系の魅力」

日時 2024年**3月23日** **土**  
13時30分～17時00分

会場 川棚町公会堂

入場  
無料



駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関をご利用になるか、お乗り合わせておいて下さい。

主催 「公共事業チェックとグリーンインフラを進める会」 議員連盟  
共催 「石木ダム強制収用を許さない」 議員連盟  
協力 「清流をまもる 未来をまもる」 集会実行委員会 090-7456-2929（井上）



## 講師プロフィール

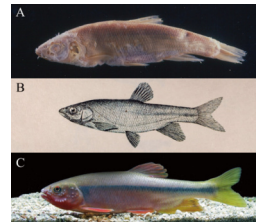


**今本 博健**（いまもとひろたけ）1937年大阪生まれ、河川工学者、水工技術研究所代表、京都大学名誉教授。専門は実験水理学・河川工学・防災工学。工学博士。1961年京都大学工学部卒業、大学院修了後、京大工学部講師、助教授、教授を歴任。2001年以来、淀川水系流域委員会委員と委員長を歴任。基本高水に依存しない「非定量治水」を一貫して主張しダム問題に大きな社会的影響力を発揮。著書に『ダムが国を滅ぼす』（扶桑社、2010年）等。

**宮本博司**（みやもとひろし）1952年京都生まれ。京都大学大学院修士課程土木工学専攻修了。1978年に旧建設省に入り技官として河川行政一筋に取り組む。河川開発課課長補佐などを経て、苫田ダム、長良川河口堰を担当。国交省淀川河川事務所長として淀川水系流域委員会の立上げに尽力。同局河川部長をへて本省河川局防災課長を最後に2006年辞職。新淀川水系流域委員会には一市民として応募、委員長就任。現在木製の樽造りの会社経営実践。



**細谷和海**（ほそやかずみ）1951東京生まれ、京都大学農学部卒業後、水産庁養殖研究所育種研究室長等を経て、2000年以降近畿大学農学部教授、名誉教授。農学博士、専門は魚類学、系統分類学、自然保護論。2017年～2019年日本魚類学会会長。琵琶湖博物館研究審査委員長など歴任。著書に『シーボルトが見た日本の水辺の原風景』（東海大学出版部）、『日本の淡水魚』（山と溪谷社）、『日本の希少淡水魚の現状と系統保存』（緑書房）等多数。



**第2部** **その1** 教えてください 今本さん、宮本さん、細谷さん  
(みんなの疑問、会場の声に答えます)

**その2** 地元の声・議員の声

事前に質問したいことを書いてご持参ください

メールの送り先はこちら➡